

②「ワークライス」は、農家の手伝いを希望する方を随時呼び込む取り組みです。草刈り、電気柵の設置・撤去、稲刈り等を幅広く手伝ってまいります。昨年度に受入れを試行し、高柳地域への浸透をはかっています。農家からは金銭ではなく、米5kgを一日分のお礼として渡します。

基本的に現地集合で昼食等も自己負担です。少なからず余裕のある希望者が、高柳の暮らしに自らの非日常を求めて来られるようです。米がつくられる流れ、水や草の話、農村の暮らし等について興味深く吸収されていく姿はなかなか新鮮です。

■往還者と地域

ある陶芸家が、「器は内側からつくられていく」と話していました。外を見て、ただ外側の形をつくらうと思うのではなく、「ろくろを回して、中がゆったりとひけたら、外もきれいになっていく、自然に」と。

人を受け入れる側の地域は「おもてなし」をするのではなく、あくまで普段の農作業、暮らしを共にすることがワークライスの肝です。強火ではなく、弱火を続けていくために受け入れ側も経験値を積んでいくことが望ましいという想いがあります。

理想的な結果としての「移住定住」は分子の1つですが、その分母にあたるのが援農に来てくれる往還者たちだと感じています。2つの活動から、またそこから派生する新たな動きからも、分母を増やして、高柳と農業を振興したいと思います。



※「アグリパス」「ワークライス」は、「にいがたイナカレッジ」（公益社団法人中越防災安全推進機構）との連携事業です。詳細はホームページをご覧ください。

発行 高柳コミセン「じょんのびの里」部会
乗岡元孝 大倉正大 米山硬
永井基栄 小林抄吾 吉田敦子
大橋拓哉 春日悟 小野島弘
編集 NPO法人里山夢もっこ

高柳地区コミュニティ振興協議会
〒945-1595 柏崎市高柳町岡野町 1849-1
TEL & FAX : (0257) 41-2234
E-mail : c-takayanagi@kashiwazaki-cc.net